

3派閥 新たな収入不記載力

安倍派 二階派 麻生派 22年報告書

わせた。

支出と収入の不一致が見つかった3派閥は「清和政策研究会（安倍派）」「志帥会（二階派）」「志公会（麻生派）」。

清和会では、支出側に記載のある28万円が、収入として記されていなかつた。志帥会では、支出側に記載のある40万円、30万円が、収入として記されていなかつた。志公会では、支出側に26万円と記されているのに、収入側には24万円と記載され、金額が2万円足りないケースがあった。

支出側の4団体はいずれも24日の朝日新聞の取材に、パートナー券購入のための支出だったことを認めた。3派閥の事務局はいずれも取材に「事実を確認し、適切に対応する」と文書で回答した。

18～21年の5派閥の計4千万円分の不記載について告発している。内訳は、清和会約1900万円▽志帥会約900万円▽平成研究会（茂木派）約600万円▽志公会約400万円▽宏池政策研究会（岸田派）約200万円で、各派閥は、複数の不記載について収支報告書の訂正を済ませている。関係者によると、告

り、上脇教授は昨年11月から今年10月にかけて、18～21年の5派閥の計4千万円分の不記載について告発している。内訳は、清和会約1900万円▽志帥会約900万円▽平成研究会（茂木派）約600万円▽志公会約400万円▽宏池政策研究会（岸田派）約200万円で、各派閥は、複数の不記載について収支報告書の訂正を済ませている。関係者によると、告

資金パーティー

総務省が24日に公表した2022年の政治資金収支報告書で、自民党の3派閥が開いた政治資金パーティーについて、記載が義務づけられている収入が、少なくとも4件（計100万円分）記されていない疑いがあることが朝日新聞の調べでわかった。国会では自民5派閥の21年までのパーティーアクセスの不記載が追及されているが、最新の収支報告書でも同様の問題がある可能性が出てきた。

▼2面=派閥の鍊金術、4面=主要政党の収入、10面=社説

自民5派閥の不記載について、政治資金規正法違反（不記載・虚偽記入）容疑で東京地検に告発している政治資金オンブズマン代表で神戸学院大教授の上脇博之氏は、24日公表の収支報告書で見つかった3派閥のケースについても規正法違反に当たると指摘。新たに告発を検討するという。

規正法は、パーティーアクセスを購入した人や団体について、名前や金額を記載する義務を負っている。朝日新聞は、24日公表の収支報告書で、派閥のパートナーエクセス券購入のために20万円超を支出していた政治団体の収入の報告書を突き合

1回につき20万円を超える券を購入した人や団体について、名前や金額を記載するのに、収入側には24万円と記載され、金額が2万円足りないケースがあった。

支出し側の4団体はいずれも24日の朝日新聞の取材に、パートナー券購入のための支出だったことを認めた。3派閥の事務局はいずれも取材に「事実を確認し、適切に対応する」と文書で回答した。

18～21年の5派閥の計4千万円分の不記載について告発を検討するとい